



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>
e-mail : koe@siminnokai.com



ロシアによるウクライナ侵略、イスラエルによるガザ侵攻がまだまだ続く中、第29回「2024 平和のための戦争展 in 北九州」が8月31・9月1日、八幡西区の黒崎コムシティで開催されました。2日間で約450人が来場。記念講演は兵士・庶民の戦争資料館の武富慈海館長が「遺品が語る戦争の真実」を講演。八幡大空襲を経験した杉野慧子さんの語り部、平和のうたごえ、北九州アカデミー少年少女合唱団の合唱などがおこなわれました。戦時資料や写真など多くの貴重な資料が展示された市民ギャラリーにも多くの来場者が訪れました。9月8日には水巻町の十字架の塔などを回る戦争遺跡めぐりツアーも実施され、18人が参加しました。

戦争の道か、平和の道か



三輪実行委員長

私たちは歴史的な帰路に立たされています。無責任に政権を投げ出した岸田首相は大軍拡、大増税を国民に押し付け、ひたすら戦争の道を突き進んできました。私たちは国民はあの侵略戦争の反省から二度と戦争はしないと誓い、そのために軍隊を持たないことと決めて、この思いを憲法九条に込めて不断の努力によって、平和の道を歩んできました。戦争は人類の敗北です。今、憲法九条は輝いています。憲法九条こそアジアと世界の平和の未来を照らしています。私たちは憲法九条の平和憲法を守っていきながら堂々と平和道を進んでいき、平和憲法を未来につなげていこうではありませんか。

武富さんは2003年、兵士庶民の戦争資料館館長をご両親から引き継ぎ、3代にわたり従軍した武富家に残る遺品や全国から寄せられた遺品を展示する全国でも珍しい私設の戦争資料館を続けています。以下は講演要旨です。

戦争は最たる人権侵害

なぜこの名前の資料館にしたか。父は九年前戦争に行つて運良く生き残つて帰ってきましたので、その反省で戦争は勝つても負けても人権侵害の最たるもの、人の命を奪つたり奪われたりするというのが一番いけないことだということに気がつきまして二度と戦争しちやいかんというのを反省した上で、戦争を知らない世代に戦争の本当のことを伝えたいということを始めたいです。



講演する武富館長

まず命を奪われる確率が高い兵士、それから国内で生活している私たち庶民、この人たちが一番犠牲になるのは戦争の非常に矛盾したところ。この目線で見ないと、戦争を語ることに何の意味もないということだ。

語り部

八幡大空襲で被災
脳裏から消えない
悲惨な出来事
平和への思い強く



杉野さん

1941年12月の真珠湾攻撃で始まった太平洋戦争で

北九州市、特に八幡では、大空襲があったわけですね。地獄のような悲惨な出来事でした。その時の様子を忘れることができません。私は七歳で、二年生でした。昨日のことのように今も覚えています。あの時の情景を忘れることができません。私の脳裏から、消えることはないのです。その戦争が終わって79年になります。

私は今でも八幡を焼け野原にしたあのB29が憎い。戦争が憎い。火の海の中を逃げまどいながら死ぬか生きるか、生死をさまようのはもうたくさんです。私のような思いをすることがあつてはなりません。今は平和。そして皆さんの尊い命を守るのには平和です。この平和が、いつまでも続きますように。

市民ギャラリーでの作品展示



来場者の感想

平和のうたごえ

●長崎の被爆体験が語りと共に合唱曲(組曲)になっているのが素晴らしい。20分があつという間でした。

●実際に起きた戦争のよさをとてもリアルに歌として表現されており、その光景が想像として伝わってきました。

記念講演

●自分で知ろうとしない戦争のことは教えられないんだとあらためて思いました。本当のことを知って、子どもたちに伝えたいと思います。

●クイズは半分しか分かりませんでした。80年しか経っていないのに、戦争の準備をさせないぞ!!と戦後でいられるように。

●「兵士・庶民の戦争資料館」のことを初めて知りました。館長の話はユーモアたっぷり、千人針や水筒の話は実物を示しながら持っていた方のこ

語り部

●八幡大空襲の怖さを具体的にその日の一日を語ってくださり、本当に恐ろしいと思いました。ガザやウクライナの子どもたちは、今も杉野さんと同じ思いをしているかと思うと悲しくて仕方がありません。

●八幡大空襲のことは知りませんでした。力強い語りで、ひしひしと命の大切さが伝わってきました。戦争は絶対ダメです。

●小さい子から高2迄、美しい歌声をありがとうございます。すてきな歌声をありがとうございました。ひとつひとつの言葉が沁みま

●大勢の子どもたちがありがとう。戦争のない平和な地球をみんなでは是非つくりましょう。

パネル展示

●リアルな展示多く、涙が出そうです。小倉に落ちていたら自分も生まれてなかったかと思うと悲しいです。

●パレスチナとイスラエルについてよく分かりませんでした。今回の展示で理解できました。早く戦争を終わらせることが一番の課題ですね。

●悲惨な写真がたくさんありました。若い人たちが見て戦争の現状をもっと知るべきだと思いました。

武内市政の問題点浮き彫りに

日本共産党市議団 市政懇談会で要望続々



多くの市民が駆けつけた市民懇談会

北九州市の9月定例会（決算議会）が9月5日から10月8日までの日程で開かれています。

この9月議会の開会にあたり、日本共産党市政懇談会が、9月8日午後2時から小倉北区の市立男女共同参画センタームーブで開催されました。8名の市議と、うど浩一郎（小倉南区）・きた時子（八幡東区）予定候補が出席しました。

山内涼成党市議団幹事長がパワーポイントをつかって基調報告し、武内市政の問題点を浮き彫りにしました。

参加者からの鋭い説明や要望に対して各議員より丁寧な返答がなされ有意義な懇談会となりました。

福岡県革新懇第31回総会開かれる 活動方針、決算・予算を承認



9月14日午後、福岡教育会館で上記総会が開催されました。参加人数は63名。

総会に先立ち、全国革新懇事務室長の小田川義和氏の講演があった。テーマは「歴史的転換点を迎えて革新懇運動の果たすべき役割はなにか」。

総会では、「活動報告と活動方針」、「決算報告と予算提案」、役員改選提案がなされ承認されました。

講演会・総会の結果は、県革新懇ニュース10月号（10月6日ごろ発行）で報告、「小田川講演」録画は後日配信予定です。

第16回市民講座

延期 九州・沖縄における軍事化の実態と背景

総選挙の関係で延期します
ご理解ください。 ～北九州空港の軍事利用化～

市民が知らないところで、戦争の準備がすすまれています。自公政権は、閣議決定した、「安保3文書」にもとづいて、九州・沖縄の自衛隊基地をアメリカいなり対中国戦争の最前線基地にしようとしています。県内でも、敵基地攻撃による報復攻撃を想定した基地「強靱化」が築城基地など13の自衛隊基地ですすめられ、土地利用規制法による住民監視体制がつけられています。さらに北九州空港の軍事利用を可能にする「特定利用

空港」を選定しました。市議会にも市民にもまとめた説明もなく、武内市長の同意の下に強行されました。そして、小倉南区の「まつりみなみ」が陸上自衛隊小倉駐屯地で開催され、迷彩服の隊員が闊歩し、隊員募集の機会にされています。だまっていたら、「戦争への道へ進んでいた」となるとは危険。政府の軍事化のねらいと実態等について学習・交流をしましょう。みなさんのご参加をお願いします。



講演 小泉 親司 さん
日本共産党中央委員会・基地対策委員会責任者
日本平和委員会常任理事
主著『防衛問題の「常識」を斬る』（新日本出版社）
『核軍事同盟と自衛隊』（新日本出版社）
『日米軍事同盟史研究：密約と虚構の五〇年』（新日本出版社）
『今日の「日米同盟」を問う』（学習の友社）

日程と会場が変更します

11月9日（土）午後2時より
男女参画センター「ムーブ」5階大セミナー室
資料代 300円（小倉北区）

お願い：なお、座席数の制限により先着70名様とさせていただきます。

どなたでも参加できます

主催 平和とくらしを守る北九州市民の会
連絡先 北九州市小倉北区田町13-21 ☎093-592-5000

案内

第44回福岡県自治体フォーラムの御案内

基調テーマ 『戦争の準備』ではなく『平和の準備』を

10/27(日) <時間>9:30開場、10:00開会、全体会、12～13:00昼休み、分科会13～16:00
<会場>福岡大学A棟（福岡市城南区七隈8-19-1、略地図参照）
最寄り駅：地下鉄「福大前駅」から徒歩約9分

どなたでも気軽に御参加を <参加費>1000円（テキスト代ほか）、障がい者・学生は300円
<主催>公益社団法人福岡県自治体問題研究所
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-19-3-508 Tel・fax 092-472-4675
E-mail:jiti@ked.biglobe.ne.jp https://jitiken.jimdofree.com/

全体会（10～12時）
記念講演・日米軍事一体化と憲法
…9条空文化で立憲主義の危機
—『有事』と『平時』の区別を重視した
日本の法制が大きく変わる
城野一憲・福岡大学准教授（憲法学）



分科会（13～16時） ※昼休みの弁当は各自で御用意ください
1 日米軍事一体化のもとで『わたしたちの街』は、今？
問題提起と進行：片山純子（元予備校講師）
あいさつ：石川捷治・九州大学名誉教授（政治史）
報告① 安保3文書と特定利用港湾・空港の指定について・長能正義（平和問題研究者）
報告② 福岡市と平和の問題について・堀内徹夫（福岡市議）
報告③ 築城基地と周辺住民について・徳永克子（行橋市議）
質疑応答、意見交換、まとめ

2 日米軍事一体化の下で職場はどう変わるか・老いも若きも男も女も交流会
*コーディネーター 築城さとこ（運営委員、懸谷一（県自治労連）
*助言者 境 大樹（前大木町長）
講演・「補充的指示権」と地方自治、小原清信・久留米大学法学部教授
関連資料読み合わせ、質疑・意見交換・交流
まとめ 小原教授

3 日本の食料・農業は大丈夫か
*コーディネーター 岩元泉・鹿児島大学名誉教授
報告① 辰己佳寿子（福岡大学教授）・住民自治を促す生活農業：山口県阿武町の農地を守る活動を事例に
報告② 宮崎康徳（福岡県自治体研究所・研究員）・学校給食無償化の課題
報告③ 河村陽菜（九大公認学生サークルITOP）・食を通じた街づくりの活動（仮題）

4 県下のまちづくり運動の現状とこれから
*コーディネーター 斎藤隆二（元東和大学教授）、新谷肇一（有明高専名誉教授）
報告① 大牟田の歴史と文化を活かしたまちづくり—市庁舎保存問題を軸に—古川 学（建築家・新建福岡支部幹事）、
報告② 福岡キャンパス跡地の現在地とこれから・原田恒夫（九大跡地を考える会・事務局次長、気象予報士）
報告③ 初代門司駅遺構の保存運動から見たもの・山隈 玄（北九州市職員OB）

5 住民の暮らしと福祉
—離婚後「共同親権」の民法改定を通して考える、その現実と背景
*コーディネーター 羽田野盛仁（福岡県自治体問題研究所・事務局次長）
① 講話 「子どもや若者に関する取組の理念と実践の手がかりを考える」
藤田 博久（福岡市社会福祉協議会・事業開発課業務アドバイザー）
② 現場から・DV・児童虐待の具体的なケースを紹介 羽田野盛仁（元児童相談所CW）
*質疑討論（参加者の保育関係者、シママ応援団（母子家庭支援団体）の方々からの発言。「共同親権」問題と「夫婦別姓」問題は、表裏の関係にある。問題の根底にはDV、ジェンダー不平等、行政の基盤の脆弱さ、誤った方向性など今の日本が抱える様々な問題を取り上げる）

6 特別講座・映画を学び楽しむ
『真空地帯』（山本薩夫監督、1952年）に学ぶ
*講師・矢野寛治（映画評論家・作家）
*矢野先生からのメッセージ…『真空地帯』とは旧軍の内務班のことである。非人間的、息すらもできない真空の世界のことである。野間宏の原作、野間は自分の体験を、軍隊の中とは何なのかを筆で詳らかにし、軍隊経験をもつ山本薩夫監督がその非人間性を、上官たちの狡猾さを、日常茶飯のいじめと暴力を映像化した。これは旧軍のお話だけではない。今の海自や陸自、空自の中に、似たような遺伝子は残っているのではないか。それを危惧し、今回はこの作品を取り上げます。
*スタッフ 杉谷雅博（会員・映画愛好家）、是石喜文（運営委員）、河谷靖（会員）



この案内の拡散をお願いします。
この案内チラシは研究所のホームページに掲載中、
現物の請求は研究所まで。